資料１

令和２年度

千葉市下水道事業会計決算報告

千葉市
CHIBA CITY

令和３年10月20日（水）
令和３年度第１回千葉市下水道事業経営委員会

目次

1　事業の概況

（１）総括事項・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2

（２）事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3

（３）処理実績・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4

2　令和２年度決算

（１）予算と決算の比較【収益的収入・支出】・ P.5

（２）予算と決算の比較【資本的収入・支出】・ P.6

3　財務状況

（１）経営状況・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.7

（２）損益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・ P.11

（３）貸借対照表（バランスシート）・・・・・ P.12

（４）キャッシュ・フロー（ＣＦ）計算書・・・ P.13

4　令和２年度決算における重点事務事業

（１）重点事務事業の決算・・・・・・・・・・・ P.14

（２）主要事業の実績・・・・・・・・・・・・・ P.15

注１　単位未満を四捨五入で表示しているので、合計が一致しない場合があります。

注2　本文中の政令市平均は、地方公営企業決算状況調査（総務省）における全政令市20都市データ（R2決算）より算出

1 事業の概況（1）総括事項

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠くことのできない重要な都市基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。

本市では、下水道を千葉市新基本計画に基づく第３次実施計画において、

■安全で災害に強いまちづくりの推進

■快適な生活環境の整備のために必要な施設

として位置づけ、引き続き、

・浸水被害を軽減するための雨水対策

・水環境保全のための高度処理

・下水道施設の再構築

・汚水管渠整備

を推進したほか、施設の老朽化や耐震化のための改築などに努めました。

このうち、汚水管渠整備については、行政区域面積27,176haの48.5%にあたる、13,191haを全体計画面積と定め、これを中央、南部及び印旛の３処理区に分け、整備を推進しています。

1 事業の概況（2）事業実績

令和２年度末の事業計画面積は、13,121haで、このうち、12,291haが整備済みとなり、整備率は、93.7%となりました。

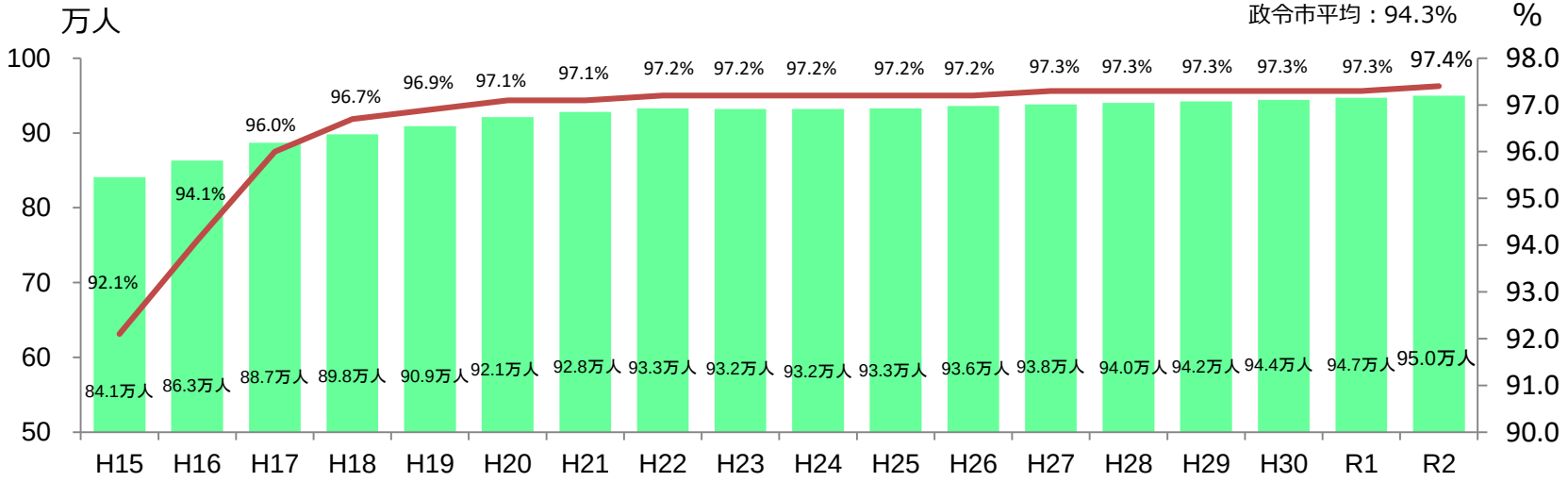
また、行政区域内人口975,507人に対し、整備区域内人口は、950,267人となり、下水道処理人口普及率は、97.4%となりました。

このうち、接続人口については、前年度より3,212人増加し、946,332人となり、接続率は99.6%となりました。

この結果、年間総処理水量は、1億2,698万3,957㎥（1日平均処理水量34万7,901㎥）となっています。

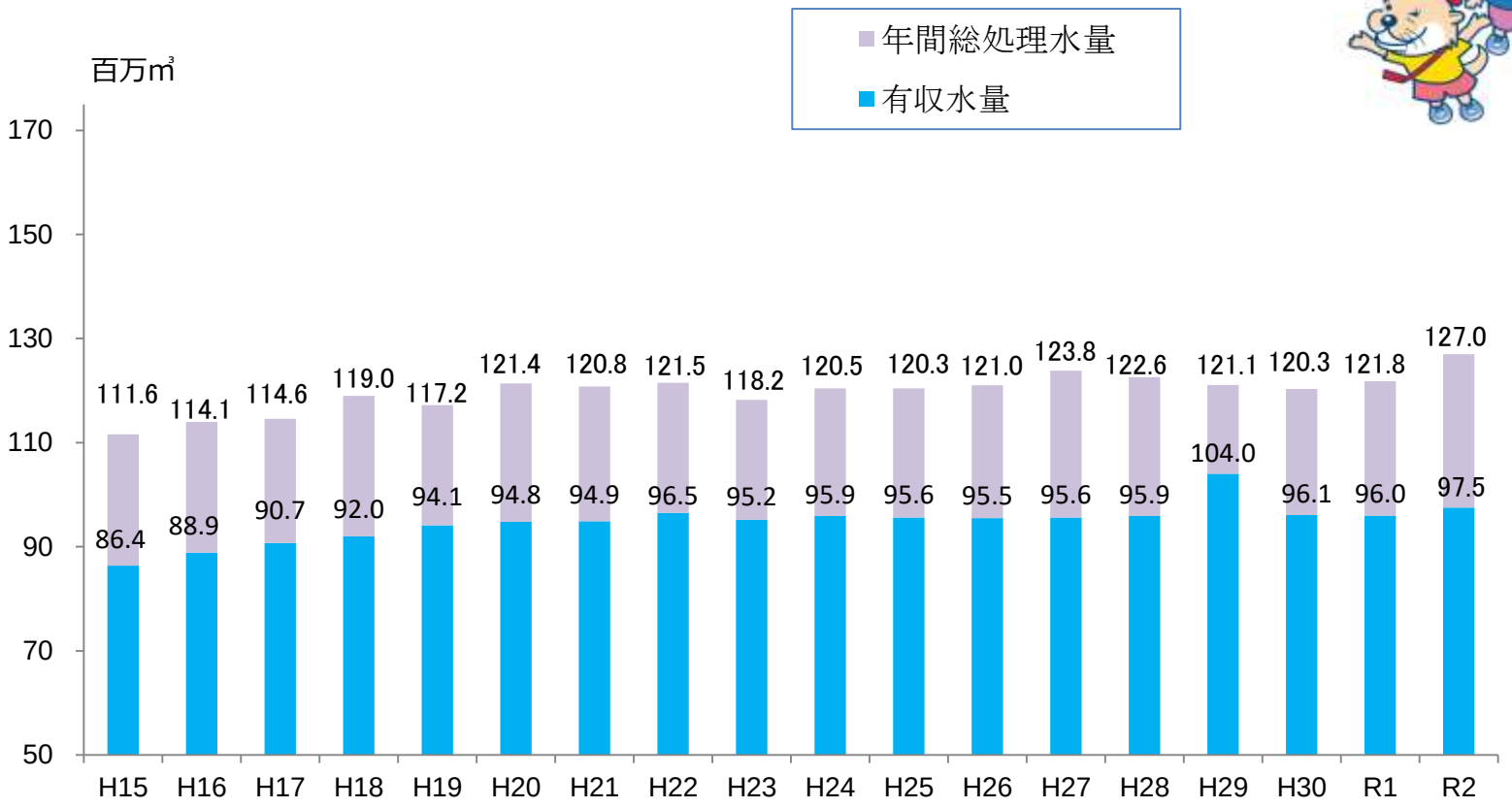
整備区域内人口

下水道処理人口普及率



1 事業の概況（3）処理実績

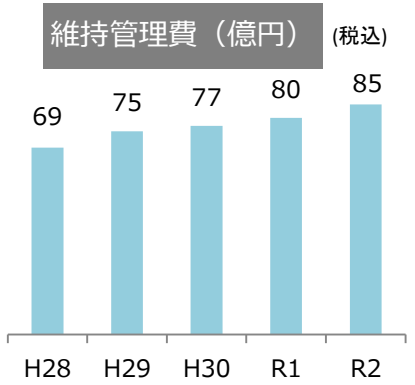
年間総処理水量・有収水量



※ H29の有収水量は、県企業局給水区域における上下水道料金徴収一元化に伴い、調定月が一元化前に比べ１か月早くなったとことにより１３か月分となっています。

2 令和２年度決算 (1) 予算と決算の比較【収益的収入・支出】

（単位：百万円・税込）	予算現計額 (a)	決算額 (b)	構成割合	増減額 (b-a)	収入率・執行率 (b/a)
1 収益的収入（下水道事業収益）	**30,633**	**29,835**	**100%**	**▲798**	**97.4%**
（１）営業収益	22,760	22,239	74.5%	△521	97.7%
①下水道使用料	14,575	14,231	47.7%	△344	97.6%
②他会計負担金	8,124	7,946	26.6%	△178	97.8%
③その他	61	62	0.2%	1	102.0%
（２）営業外収益	7,848	7,540	25.3%	△308	96.1%
①他会計補助金	182	143	0.5%	△40	78.3%
②長期前受金戻入	7,624	7,364	24.7%	△260	96.6%
③その他	41	33	0.1%	△8	79.7%
（３）特別利益	25	56	0.2%	31	220.7%
2 収益的支出（下水道事業費用）	**29,626**	**28,535**	**100%**	**▲1,090**	**96.3%**
（１）営業費用	25,814	24,885	87.2%	△929	96.4%
①維持管理費	9,074	8,490	29.7%	△584	93.6%
②減価償却費	16,056	15,803	55.4%	△253	98.4%
③資産減耗費	684	591	2.1%	△93	86.4%
（２）営業外費用	3,791	3,631	12.7%	△161	95.8%
①支払利息	3,613	3,488	12.2%	△125	96.5%
②その他	178	143	0.5%	△35	80.3%
（３）特別損失	11	20	0.1%	10	193.6%
（４）予備費	10	0	0.0%	△10	0.0%



主な増減要因

一般会計が負担する費用の減（主に減価償却費・資産減耗費の減）

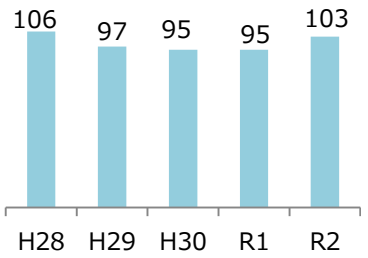
印旛沼流域下水道維持管理負担金の減、包括的民間委託の燃料費調整等による委託料の減

固定資産の除却を伴う更新改良工事の減少

2 令和２年度決算 (2) 予算と決算の比較【資本的収入・支出】

（単位：百万円・税込）	予算現計額 (a)	決算額 (b)	構成割合	収入率・執行率 (b/a)	繰越額 R2→R3 (c)	増減額 (b+c-a)
1　資本的収入	**26,005**	**15,929**	**100%**	**61.3%**	**9,424**	**▲652**
（１）企業債	19,155	12,301	77.2%	64.2%	6,401	△453
①建設企業債	13,988	7,222	45.7%	51.6%	6,401	△365
②流域下水道負担金債	102	79	0.1%	77.5%	0	△23
③資本費平準化債	5,065	5,000	31.4%	98.7%	0	△65
（２）他会計出資金	747	747	4.7%	100.0%	0	0
（３）補助金	6,007	2,636	16.5%	43.9%	3,023	△347
（４）負担金	87	240	1.5%	275.2%	0	153
（５）その他	8	4	0.1%	52.6%	0	△4
2　資本的支出	**37,456**	**27,151**	**100%**	**72.5%**	**9,494**	**▲811**
（１）建設改良費	20,559	10,288	37.9%	50.0%	9,494	△777
①管きょ布設費	12,711	5,942	21.9%	46.8%	6,425	△344
②ポンプ場建設費	1,411	342	1.2%	24.2%	923	△146
③処理場建設費	5,465	3,250	12.0%	59.5%	2,028	△187
④計画認可費	282	133	0.5%	47.1%	117	△32
⑤給与費	690	621	2.3%	90.0%	0	△69
（２）固定資産購入費	153	133	0.5%	87.3%	0	△19
（３）償還金	16,728	16,728	61.6%	100.0%	0	0
①企業債償還金	14,014	14,014	51.6%	100.0%	0	0
②資本費平準化債償還金	2,714	2,715	10.0%	100.0%	0	0
（４）その他	15	1	0.0%	6.3%	0	△14

建設改良費（億円）(税込)



主な増減要因

起債対象となる建設改良費の減

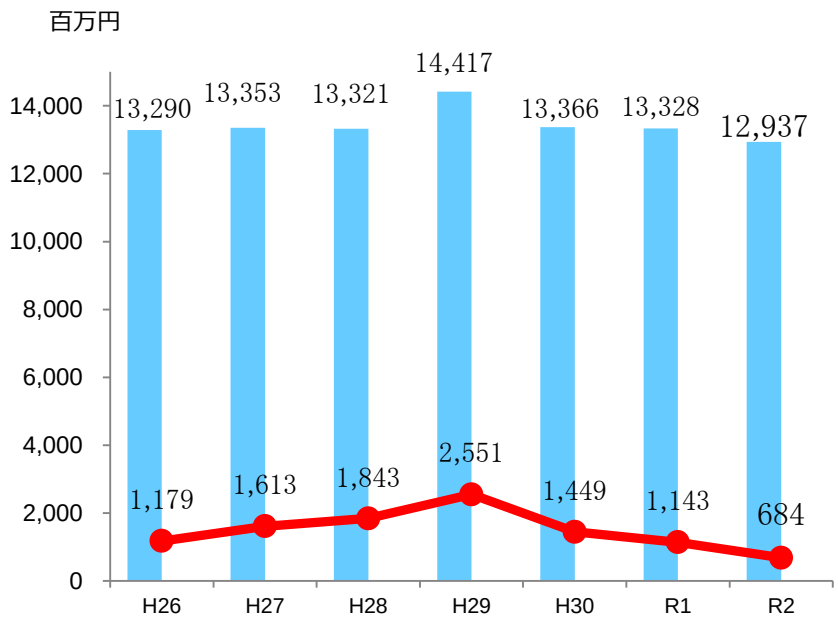
国庫補助事業の対象となる建設改良費の減

建設事業の内容精査、入札差金等による不用額7.8億円

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額112億2,177万円は、減価償却費や利益などより生じる補填財源を充当している。

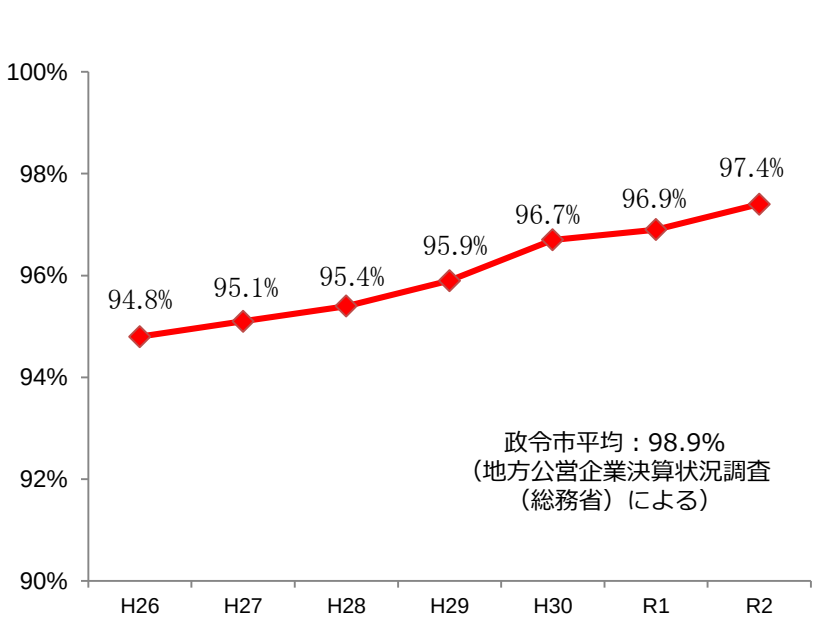
3 財務状況（1）経営状況

使用料収入・当年度純利益



※ H29の有収水量は、県企業局給水区域における上下水道料金徴収一元化に伴い、調定月が一元化前に比べ１か月早くなったとことにより１３か月分となっています。

収納率



※３月調定分を反映させるため、5月末時点の収納率を記載しています。

3 財務状況 (1)経営状況 新型コロナウイルス感染症による影響

●調定件数及び有収水量は前年度を上回ったものの、事業所等の大口使用者の汚水量が減少したため、下水道使用料は前年度に比べ２．９％、３９０，８４１千円（税抜）減少した。

●収入が減少した方等を対象として、県企業局と調整のうえ、下水道使用料の支払猶予を実施。

・件数４１８件　金額１３，２５５千円

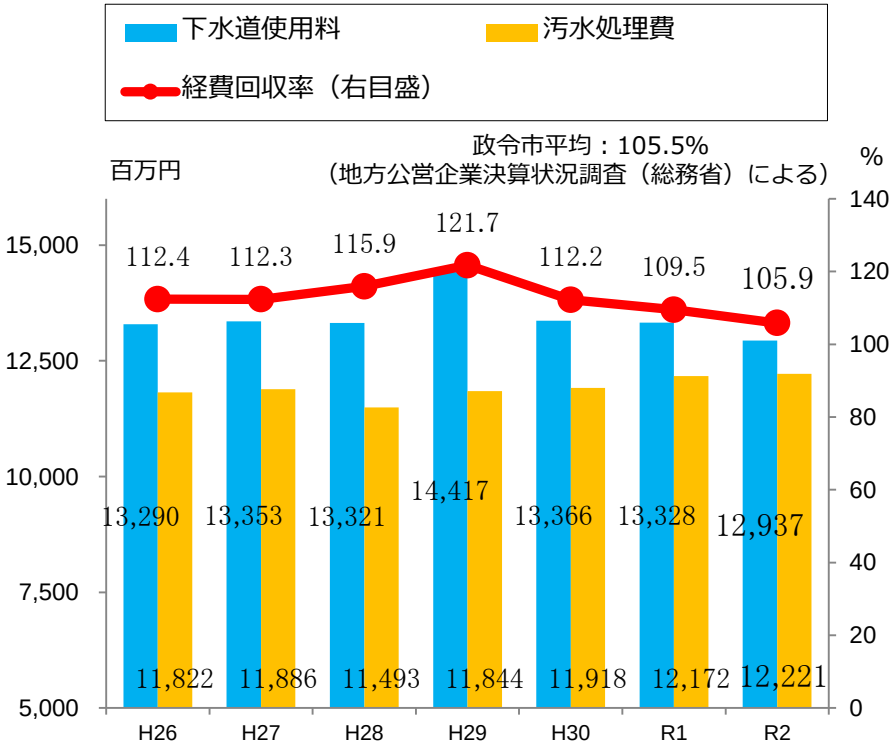
令和2年度・令和元（平成31）年度　水量ランク対比表

段階（㎥・2ヵ月）	調定件数			水量（㎥）			金額（円・税込）		
	R1	R2	（R2-R1）	R1	R2	（R2-R1）	R1	R2	（R2-R1）
0～200（一般家庭・商店など）	2,505,050	2,529,423	24,373	75,023,236	78,599,818	3,576,582	8,562,993,195	9,147,957,492	584,964,297
201～2,000（病院、学校など）	15,907	14,761	▲ 1,146	9,094,560	8,333,265	▲ 761,295	2,124,449,760	1,934,723,116	▲ 189,726,644
2,001～（製造業など）	2,029	1,782	▲ 247	12,880,699	10,589,771	▲ 2,290,928	3,965,895,745	3,157,320,739	▲ 808,575,006
合計	2,522,986	2,545,966	22,980	96,998,495	97,522,854	524,359	14,653,338,700	14,240,001,347	▲ 413,337,353

（注）更生前の数値のため、決算額等と数値が異なります。

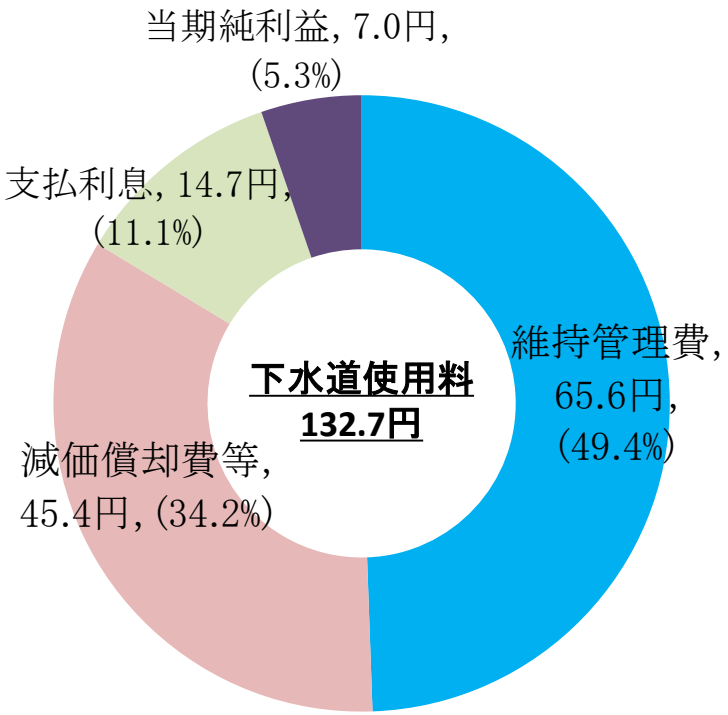
3 財務状況（1）経営状況

下水道使用料・汚水処理費・経費回収率



経費回収率(%)＝下水道使用料÷汚水処理費×100

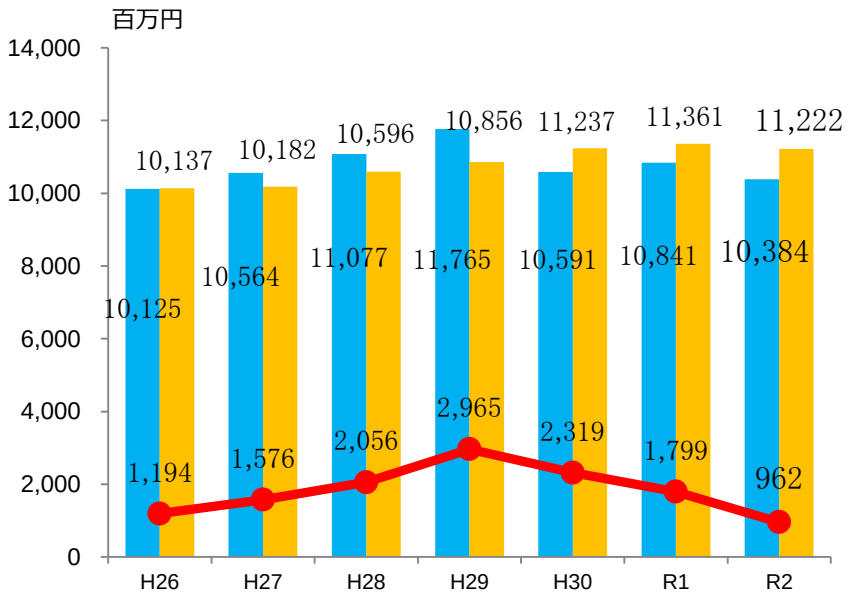
1㎥あたりの下水道使用料の使い方



下水道使用料のうち、約半分が過去に下水道施設の整備のために発行した企業債の元金償還財源（減価償却費や当期純利益）及びその利息の支払財源に充てられます。

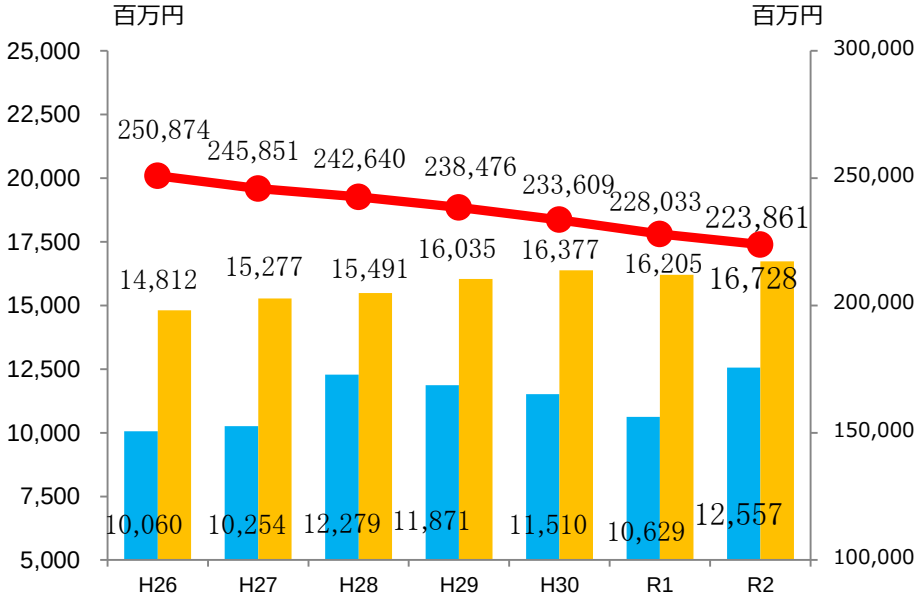
3 財務状況（1）経営状況

補てん財源残高



補てん財源は企業債の償還等に充当しており、令和４年度が企業債償還のピークとなっているため、近年、その残高は減少傾向にあります。

企業債残高



R2時点の企業債残高は、市民一人あたり22.９万円の負債となります。

3 財務状況 (2) 損益計算書

（単位：百万円・税抜）	R1年度	R2年度	増減額	増減率
1．営業収益	21,360	20,940	△420	△2.0%
2．営業費用	23,948	24,231	＋283	＋1.2%
営業利益	**△2,588**	**▲3,291**	**△703**	**△27.2%**
3．営業外収益	7,615	7,544	△71	△0.9%
4．営業外費用	3,896	3,605	△291	△7.5%
経常利益	**1,131**	**648**	**△483**	**△42.7%**
5．特別利益	13	56	＋43	330.8%
6．特別損失	1	20	＋19	著増
当年度純利益	**1,143**	**684**	**△459**	**△40.2%**
営業収支比率	89.2%	86.4%	△2.8ﾎﾟｲﾝﾄ	
経常収支比率	104.1%	102.3%	△1.8ﾎﾟｲﾝﾄ	政令市平均※ 105.5%

営業収支比率（%）＝営業収益÷営業費用×100

経常収支比率（%）＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100

※ 地方公営企業決算状況調査（総務省）における全政令市20都市データ（R2決算）による

3 財務状況 (3) 貸借対照表（バランスシート）

（単位：百万円）		R1年度	R2年度	増減額
資産		**460,814**	**454,183**	**△6,631**
	1．固定資産	455,287	449,876	△5,411
	2．流動資産	5,527	4,307	△1,220
負債		**405,971**	**397,870**	**△8,101**
	3．固定負債	211,660	207,373	△4,287
	4．流動負債	20,711	20,244	△467
	5．繰延収益	173,600	170,253	△3,347
資本		**54,843**	**56,313**	**＋1,470**
	6．資 本 金	31,579	33,776	＋2,197
	7．剰 余 金	23,264	22,537	△727

自己資本構成比率	49.6%	49.9%	＋0.3ﾎﾟｲﾝﾄ	政令市平均※ 57.7%
流　動　比　率	26.7%	21.3%	△5.4ﾎﾟｲﾝﾄ	74.8%

自己資本構成比率(%)＝（資本金＋剰余金＋繰延収益）÷ 負債資本合計×100
流　動　比　率 (%) ＝ 流動資産÷ 流動負債×100
※ 地方公営企業決算状況調査（総務省）における全政令市20都市データ（R2決算）による

3 財務状況 (4) キャッシュ・フロー (CF) 計算書

（単位：百万円）	R1年度	R2年度	増減額
1．業務活動によるＣＦ	8,059	9,406	＋1,347
2．投資活動によるＣＦ	△6,657	▲6,889	△ 232
3．財務活動によるＣＦ	△5,994	▲3,683	＋2,311
資金増減額	△ 4,592	▲1,166	＋3,426
資金期首残高	7,272	2,680	△ 4,592
資金期末残高	**2,680**	**1,514**	**△ 1,166**
フリーキャッシュ・フロー	1,402	2,517	＋1,115
業務CF対流動負債比率	38.9%	46.5%	＋7.6ﾎﾟｲﾝﾄ

フリーキャッシュ・フロー＝業務活動によるＣＦ＋投資活動によるＣＦ

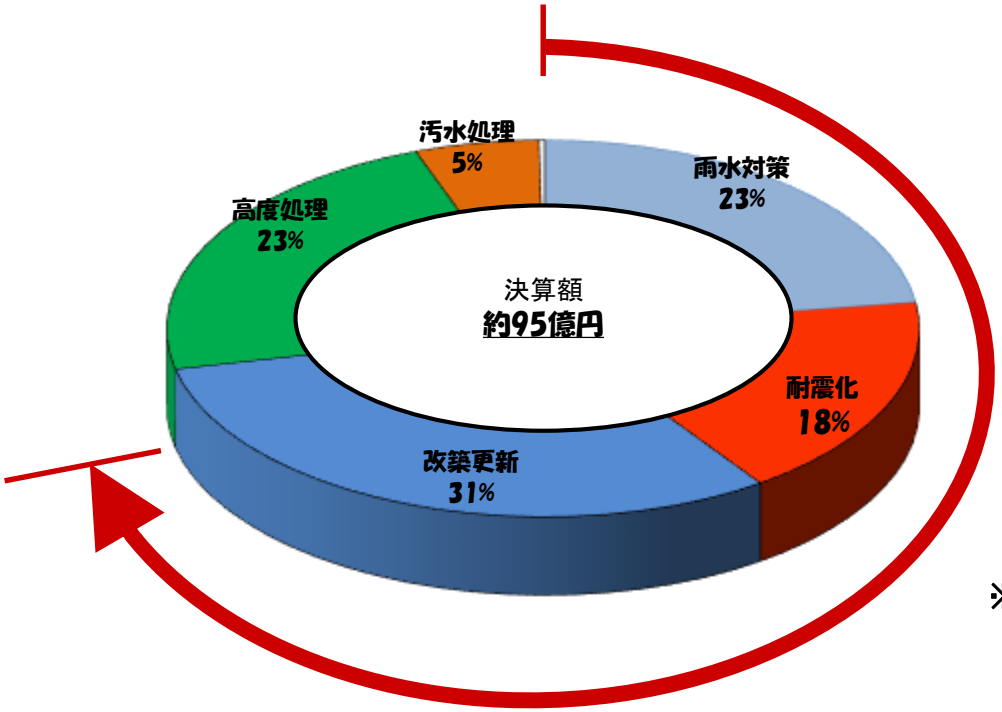
業務ＣＦ対流動負債比率（%）＝業務活動によるＣＦ÷流動負債×100

4 令和２年度決算における重点事務事業 (1) 重点事務事業の決算

防災・減災事業を重点化！ ～安全・安心のまちづくりに向けて～

◆令和2年度の決算額と施策毎の割合(％)

●令和2年度決算額 **9,531百万円**



防災・減災事業
全体の72%
約68億円

※高度処理(中央浄化センター水処理施設の建設)は耐震化、老朽化対策も兼ねており
併せると　全体の 94%　約90億円

4 令和２年度決算における重点事務事業 (2) 主要事業の実績

◆主要事業

○ 局地的な大雨による浸水被害を軽減するため、千葉市雨水対策重点地区整備基本方針に基づき浸水リスクや都市機能の集積度が高い『重点地区』や、その他の『一般地区』において、地域の状況に応じた雨水管渠などの整備を実施しました。

○ さらに、令和元年10月25日大雨による浸水被害のあった地区の対策を進めていきます。

○ 市民による防水板設置の費用の一部を助成しました。

(1) 浸水被害の軽減と対策の強化　決算額　2,167百万円

① 雨水整備(重点地区)

【重点地区　4/5箇所着手】

富士見（ＪＲ千葉駅東口）

宮崎（ＪＲ蘇我駅東口）

都町３丁目

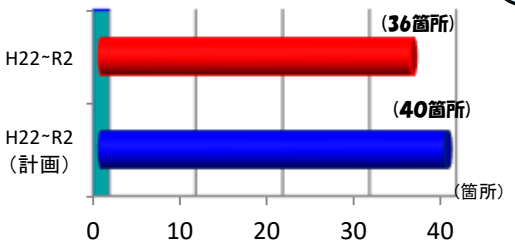
みつわ台４丁目

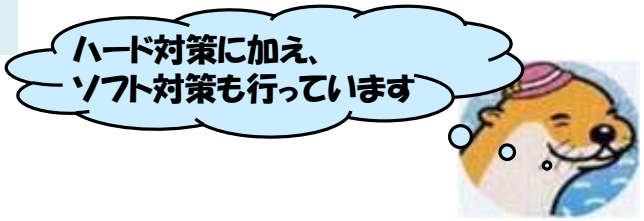
② 雨水整備(一般地区)

【一般地区　36/40箇所整備完了】幕張本郷他

下水道事業中長期経営計画（H22～R2）　進捗状況

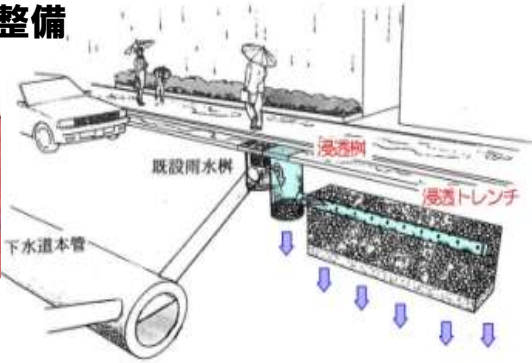
浸水対策箇所数





③ 浸透施設整備

稲毛台町他



④ 助成制度

マンションなどの防水板設置費用の一部を助成

(2) 地震時における下水道機能の確保　決算額　1,674百万円

① 下水道施設の耐震化(管渠)

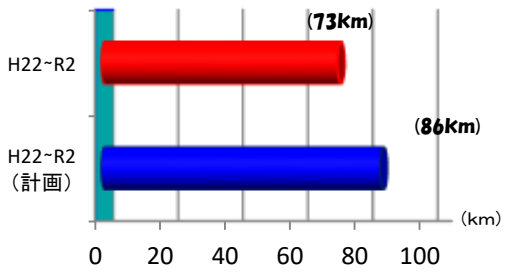
2.6km【耐震化 進捗率85%(73/86km)完了】

美浜区：幸町　　東日本大震災で被災した美浜区を重点的に整備

その他：黒砂台他　　緊急輸送道路下などの管渠を実施

下水道事業中長期経営計画（H22～R2） 進捗状況

管渠の耐震化　整備延長

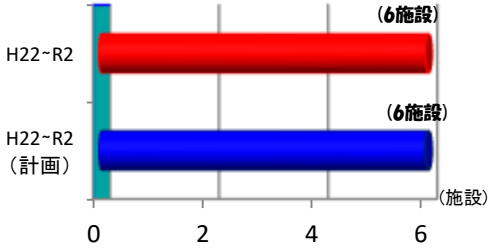


② 下水道施設の耐震化(処理場・ポンプ場)

1箇所【処理場等の耐震化　6/6箇所完了】

ひび野ポンプ場耐震診断

処理場・ポンプ場の耐震化

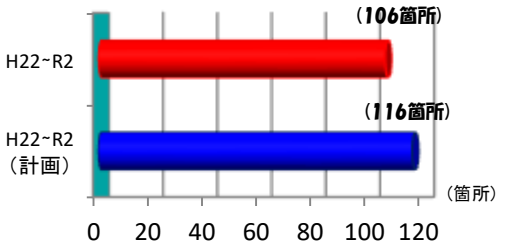


③ マンホールトイレの設置　22箇所（110基）【避難所となる小学校等にマンホールトイレ　106/116箇所設置完了】

花島小学校　他

（マンホールトイレ）

マンホールトイレ設置箇所数



(3) ストックマネジメントの推進　決算額　2,978百万円

老朽化した管渠、処理場・ポンプ場設備の改築を計画的に進めており、安定的な下水道サービスを提供していきます。

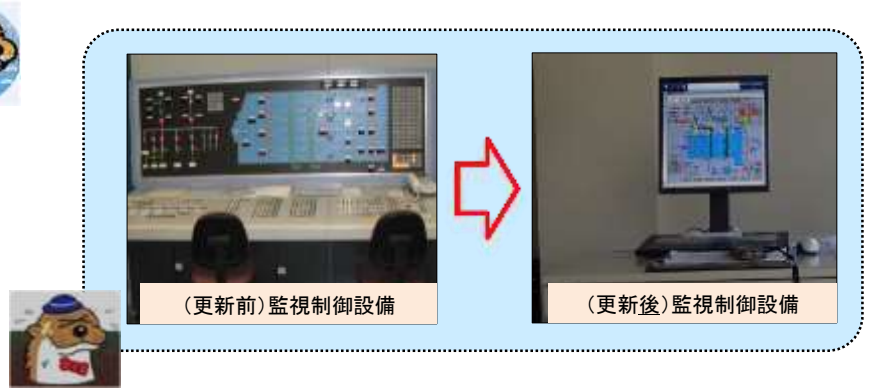
① 下水道施設の改築（処理場・ポンプ場）

175点 【改築設備点数 進捗率96%（2,772/2,882点）完了】

南部浄化センター、中央浄化センター

長作ポンプ場、越智ポンプ場

下水道の機能を
適正に維持します

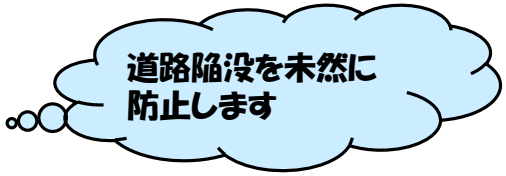


② 下水道施設の改築(管渠) 9.3km 【改築 進捗率87%(78/91km)】

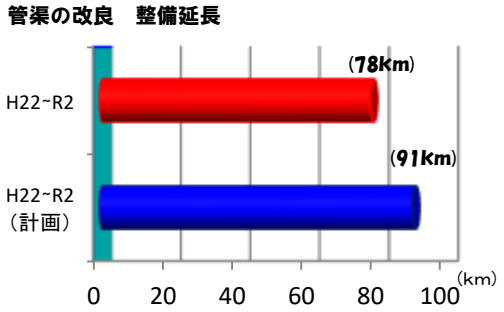
中央区：中央港、浜野町、市場町、道場南

花見川区：幕張

若葉区：千城台、都賀の台、みつわ台、大宮台



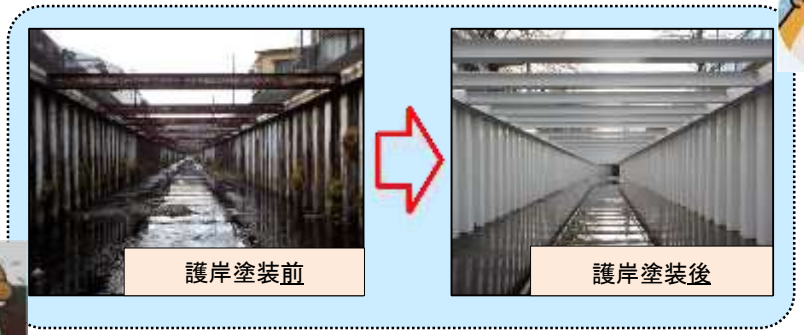
下水道事業中長期経営計画
（H22～R2） 進捗状況



③下水道施設の適正な維持管理

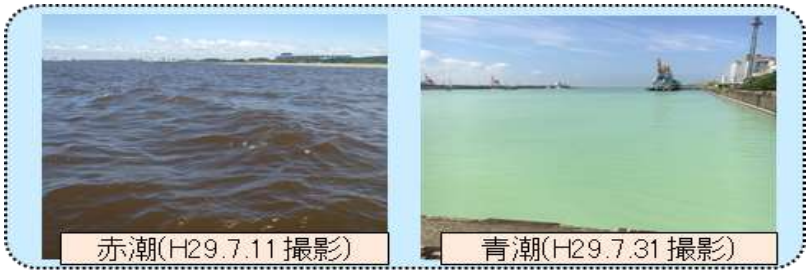
マンホール蓋の更新　1,361個

草野みずのみち（護岸塗装）　70m



(4) 海辺の水質保全　決算額　2,183百万円

東京湾で発生する赤潮・青潮の発生要因の一つである窒素・リンを除去するため、処理場のおいて高度処理施設の整備を行います。



中央浄化センター水処理機械・電気設備工事

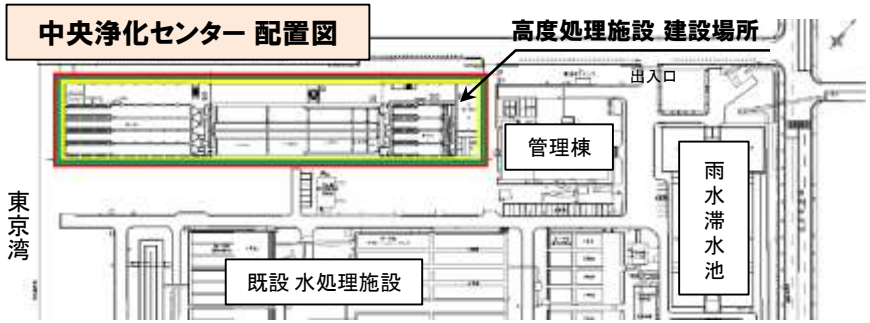
（令和元～２年度（繰越））

中央浄化センター塩素混和池建設工事

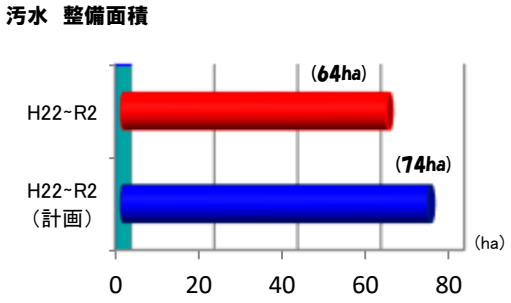
（令和元～２年度（繰越））

中央浄化センター送風機機械設備工事

（令和元～２年度）



下水道事業中長期経営計画（H22～R2）　進捗状況



(5) 下水道未普及地域の解消　決算額　505百万円

汚水整備　5ha【汚水整備 進捗率87%(64/74ha)完了】

六方町他

Memo

イメージキャラクター
「カワウソ一家」
左上：アクア（パパ）
右上：クリーン（ママ）
中央下：かわチャン（女の子）